

令和6年度キラッと輝け！地域応援補助金事業(第5回)

「担い手育成」、「上野天神祭を活かしたまちづくり」について 犬山祭保存会との交流会

9月22日、令和6年度キラッと輝け！地域応援補助金事業として、愛知県犬山市の犬山祭保存会の皆様との交流会を実施しました。当住民自治協議会では高齢化により担い手不足が進み自治協活動に問題が出てきたため上野天神祭を活かしたまちづくりにより担い手育成をはじめ地域諸問題の解決を目指して、これまで4回の勉強会や検討会を重ね、多くの皆さまから意見を求めてきました。(次頁参照)

犬山市は愛知県最北部にあり、人口71,000余、国宝犬山城が有名ですが、近年はシャッター通りから復活し、若者が集う街となった犬山城下町が有名です。そしてこの街には上野天神祭



犬山祭のからくり人形

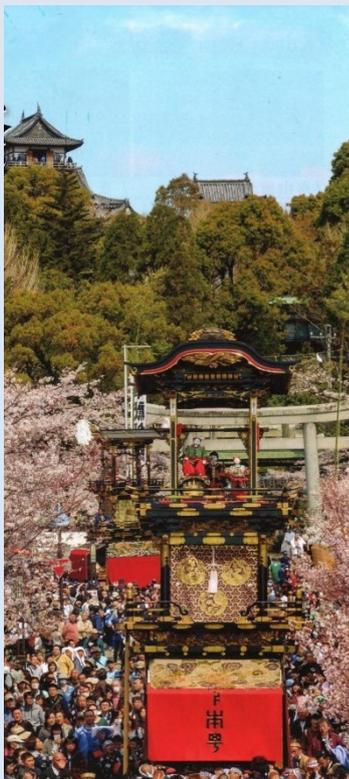
と同じくユネスコ無形文化遺産に登録された犬山祭があります。13輛の車山(やま)と3町の練り物があり4月第1土曜日が試楽祭、翌日曜日が本楽祭です。車山は3層で最上部の上山(うわやま)が人形舞台です。例年の祭人出はおよそ50万人だそうです。

【交流会で伺った主な内容】

○犬山祭保存会の理念は「地域コミュニティをつなぐ、ひきつぐ、ささえる」であり、犬山祭をすることはわれわれ(保存会)の目的ではなく手段であり、目的は「まちづくりを支える仲間のネットワークを作る」ことです。

○日本人の精神は「おはらい」が始めにあり、次も「おはらい」です。この点上野天神祭の大御幣はすばらしいと感心しました。

○桑名の人にとっては石取祭りのあのやかましい音が子守歌だそうです。上野も同様でしょう。犬山も同じで小さいころから祭囃子を聞き、からくりを体験することが次世代の祭人の育成に繋がります。地元の中高等学校には祭文化に関するクラブがあり保存会は指導に伺っています。(別紙報告書によれば年間20回ほど、また秋の「からくり町巡り」では中高校生の実演が開催されます。)



犬山祭

<次頁に続く>



(広告)

「届けます」「見守ります」「支えます」

宅配専門 まごころ弁当 伊賀店

地域のお年寄りにお弁当を届けて 丸10年
 「伊賀市全域」「365日」「昼食と夕食の1日2回」

伊賀市上野西町3370
 西町や かかん内

電話 0595-51-0569

週に1回でもお届けします。お気軽にご相談ください。

8:00~18:00 (年中無休)



国宝犬山城

<前頁から続く>

○当保存会は一般社団法人で常任理事会・理事会の他、企画広報委員会、てこ委員会、伝統文化委員会、からくり文化振興部等があります。メンバーが多いのはてこ委員会ですが、大切なのは事務局と企画広報委員会です。からくり文化振興部は学校の部活動の指導をしています。

○祭の経費で最近増えてきたのは警備関連で1,500万円ほどかかりますが、大部分を公金で負担してくれています。

(後書) 交流会は予定終了時間を30分程超え大変有意義なものでした。交流会を終えた後、城下町にある犬山からくりミュージアムやどんでん館を見学しましたが、この見学にも犬山祭保存会の皆様が同行、歓談と共に詳しく説明をいただきました。犬山保存会の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和6年度キラッと輝け！地域応援補助金事業(第4回)

パネルディスカッション と ワークショップ

8月29日、ハイトピア伊賀5階にて上野西部地区住民自治協議会の令和6年度キラッと輝け！地域応援補助金事業「地域の担い手育成事業」のパネルディスカッション及びワークショップが開催されました。

パネルディスカッションはコーディネーターに増田 産業・建設・町づくり部会長、パネラーに山田 市観光戦略課長、伊賀市若者会議の辻氏・向山氏、伊賀てくてくくらの寺村氏、上野西部自治協副会長の前田・谷村両氏が参加して行われました。(パネルディスカッションでの発言内容やワークショップでの意見の詳細は、上野せいぶのサイトを参照ください。)



上野せいぶサイト



引き続き32人の参加者が6グループに分かれてワークショップが行われました。「次世代へつなげるまつりへ」をテーマに意見・提案を出し合いました。主な内容は次の通りでした。

- 主に個人について
- ・祭を知っている人が進んで情報を発信する。
 - ・観光客へのおもてなしや接待を工夫する。

主に自治会・自治協議会について

- ・まちづくり計画の見直しを検討する。
- ・天神祭の部会を設ける。
- ・西部自治協にて曳き手等応援者を募集する。
- ・広報担当を若者に託す。
- ・まず自分の町のだんじり・鬼について町内でよく知る。
- ・鬼・だんじりの勉強会を開き、子どもたちに祭を知ってもらう。

行政について

- ・観光戦略課を中心に祭活性化の組織をつくり統一的な動きをする。
- ・祭関連の予算の増額
- ・空家の活用
- ・駐車場の確保

上野文化美術保存会について

- ・人の多い町から少ない町へ人手を回すような融通のきく体制づくり。
- ・SNS担当を設ける。
- ・伊賀市内の小学校へお囃子体験の出前講座をする。
- ・高校生との交流を考える。

探訪シリーズ

7 菅原神社（上野天満宮）

（すがはらじんじゃ）

秋の例大祭（上野天神祭）を控え、「天神さん」で親しまれている菅原神社では、装いも新たに10月25日を待つばかりとなりました。

神社について様々な説や不明な点もありますが、過去の地誌類によれば、かつて上野城内にあった「平楽寺」の守護神として、九社権現と共に城内に祀られていました。平楽寺は後白河法皇の勅願で平清盛が建立したと言われ、真言宗の立派な学僧も多く、同時期にあった「薬師寺」と合わせた寺域は、東西2町半（約270m）あり、まさに学山たる観であったようです。しかし天正9年（1581）「天正伊賀の乱」にて社寺共に焼失。2年後神社は上野村「山の神」の地（現図書館あたりか）に遷され、藤堂高虎入府後の慶長16年（1611）には築城に伴い外堀南の現神域に移されました。

寛永4年（1627）高虎は銅鐘を寄進し鐘楼（しょうろう）を建立、三代高久が松木100本を寄進して宝永元年（1704）に大造営された楼門と共に、現在では三重県指定有形文化財になっています。（今の鐘は天明7年（1787）鋳直された）

また松尾芭蕉が、寛文12年（1672）処女作「貝おほひ」を神社にたむけて江戸へ向かい、俳諧への立志決意を示したのは有名です。

これからも私達を暖かく見守ってくれる天神さん。菅原道真公を祭神に上野の産土紙（うぶすながみ）・氏神であり、人々の心の拠り所として多くの信仰と崇敬を集めています。

出典・参考資料 : 上野天神祭総合調査書 : 伊賀の歴史 : 毎日新聞

協力 : 菅原神社

監修 : 上野西部地区住民自治協議会 教育・文化・芸術部会



秋季全国火災予防運動が始まります

11月9日（木）から15日（水）までの7日間

■重点目標 (1) 住宅防火対策の推進

(2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進 (3) 放火火災防止対策の推進

(4) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

(5) 製品火災の発生防止に向けた取組みの推進

(6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底



夕涼み会

今年度の夕涼み会は、32名の子どもが参加してくれました。

子ども達は、上野西部地区市民センター入口で受付を済ました後、屋外でヨーヨー釣り、一円玉落とし、水鉄砲、2階ではスカットボール、射的、お菓子千本釣り、輪投げの各コーナーを廻り、最後に綿菓子のお土産と抽選会がありました。

大盛況のうちに終了の時間となり、子ども達から「来年も夕涼み会をしてください」と要望がありました。



輪投げ



ヨーヨー釣り



射的

第20回スポーツフェスティバル

9月29日、上野西部チームはソフトボール大会に出場しました。鹿道監督のもと、2年連続の優勝となりました。選手の皆さん、お疲れさまでした。
(優勝決定戦)

上野西部 VS 緑ヶ丘本・西町 11-1



第7回文化歴史講演会

芭蕉翁生誕380年に寄せて、9月29日上野西部地区市民センターで、岡森勝彦さんを講師に迎え、講演会を開催しました。

平成17年に伊賀市が購入した芭蕉翁及び俳諧

関係書(沖森文庫)177点について説明を受け、21名の参加者は感心していました。



年金3択クイズ

答えは右下

66歳時に月額15万円で2か月間に限り社保に入りますが、年金額(年・報酬比例部分)はおよそいくら増えるでしょうか。給付乗率は、0.005769とします。

- ① 865円
- ② 3,240円
- ③ 1,730円

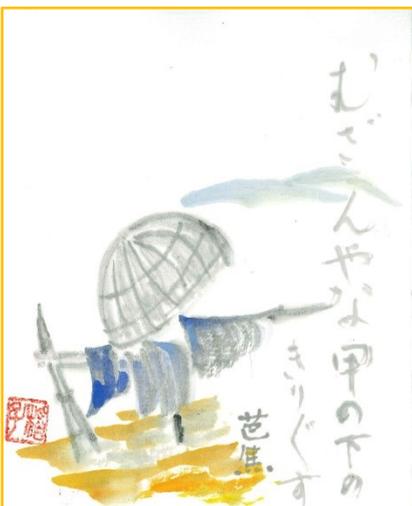


上野西部地区住民自治協議会

<https://uenoseibu.com>



答え③



子ども食堂「わいわい いがっこ」

～食堂をご利用ください～

日時 2024年11月17日(日) 料金 300円 10食

(A) 11:50~12:30 (B) 12:30~13:10

場所 おあいこ中町サテライト(旧ヤオヒコ西)

予約 090-5854-7761 9:00~18:00 締切 11月13日(水)